

※黎明(れいめい)：明け方、夜明けの意

特集1：乳腺専門外来開設

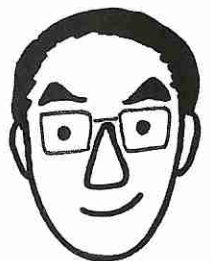
特集2：画像撮影・診断用機器の導入・更新



表紙写真：病院見学・説明会(H27.3.21)。看護学生やそのご家族を対象に年2回開催しています。当院の教育体制や看護の実際についてご説明・ご案内します。

インタビュー

院長  
三科 武



日本の医療と介護を永続性のある制度とするために昨年より病床機能報告が、今年には地域医療構想(ビジョン)の策定が始まります。病院は高度急性期、急性期、回復期、慢性期の4つの機能に分けられた病床を持つこととなります。団塊の世代の方が75歳を迎える2025年までに良い医療と介護のシステムが作られることを願います。

一方いくら良い制度を作っても、そこで働く良い人材がいなければ効果は上がりません。当院では、鶴岡で働く意思を持った医学生に修学資金の貸与制度を設けております。将来、大学や研究施設での研究も可能な形で制度設計をしました。この医学生たちが、やがて日本を代表するような研究者になってもraitたいという希望もありますし、地域医療の充実に邁進してもらいたいのと思います。研究のアイデアは若いときに作られるものです。ぜひ現在の「なぜ、どうして」を記憶に留め、将来の研究テーマにしてもraitたいと思います。

また高校生の皆さんを対象とした病院見学実習「open hospital」も毎年夏に開催しております。興味ある方はぜひ参加してください。

永続可能な医療と介護のシステム構築を

# 乳腺専門外来を開設します

荘内病院は高度・多様化する乳がん診療にチーム医療で対応します～

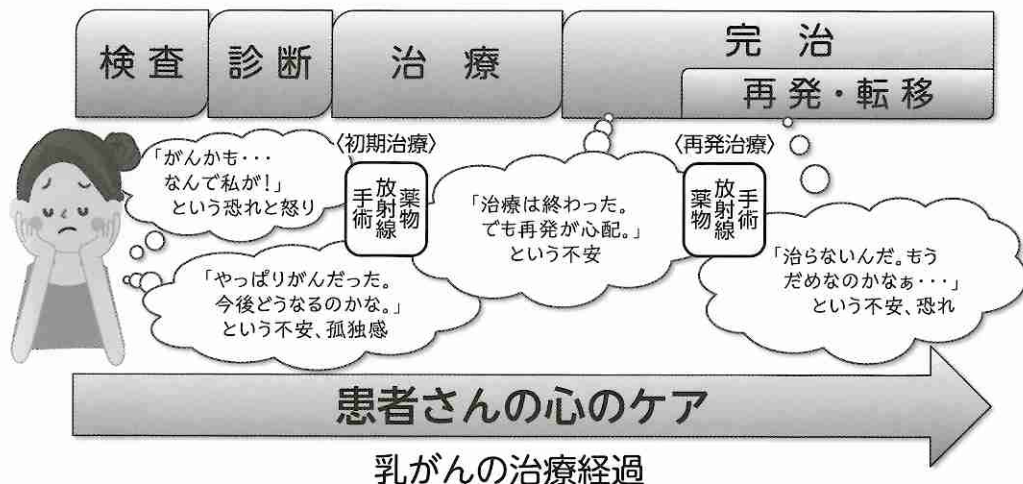
## 増加する乳がん患者

荘内病院を受診される乳がん患者数は年々増加し、乳がん手術を受けられる方は年間約40～50人、放射線治療や抗がん剤、ホルモン剤治療を受けている方を合わせると、年間延べ300～400人の乳がん患者さんが当院外科で診療を受けています。

## より高度化・多様化する乳がん診療への対応

乳がん治療の変化は、まず、手術では乳房全摘術から乳房温存手術への移行、センチネルリンパ節生検の導入（脇の下のリンパ節をすべて切除するか手術中に判定する）、そして、近年保険承認された乳房再建手術（人工乳房等を使用する）の適応へと移ってきました。さらに有効な新規抗がん剤や分子標的治療薬の開発が進み乳がんの治療成績は確実に改善されてきておりますが、それに伴い各種薬剤による特徴的かつ重篤な副作用への対応も軽視できなくなってきました。また、がんと診断された時からの患者・ご家族の皆さんの、

からだと心をケアしていくことの重要性は言うまでもなく、心身両面の苦痛の緩和により、その人らしく生活できるようにサポートしていかなくてはなりません。また、高度な医療に伴う高額な医療費の問題への対応も課題です。



このように乳がんの診療は以前と比べられないくらい高度かつ専門化し複雑になってきています。それに伴って患者さんのニーズも多様化してきたため、今まで以上に医療従事者には専門的な知識の習得やスキルの向上が望まれるようになってきました。

## 乳腺専門外来の開設

このような患者さんやご家族、さらには地域住民の方々や当院の医療従事者の要望に応えるために、このたび南庄内地域で初めて、念願の乳腺専門外来が荘内病院に開設されることになりました。乳腺専門外来の開設の目的は、乳がんをはじめとする乳腺の病気に対し、より専門的な視点からアプローチすることで患者・ご家族の皆様の、治療や看護、ケアに対する満足度を高めていくこと、専門医とのディスカッションを通して乳腺疾患の最新診療を学ぶことで当院医療従事者のレベルアップを目指すことにあります。

# 4月から



卒業し、現在、乳腺外科の医長として北村山公立病院に勤務しています。日本乳がん学会専門医で同学会の評議員の重職を担われている乳がん診療の第一人者で、山形県内だけでなく広く日本の乳癌関連学会・研究会のオピニオンリーダー的存在でもあります。

乳腺専門外来は月1回、第二月曜日の午後には診療が行われます。当外来の受診を希望される方は、かかりつけ医等からの紹介状が必要になります。ご不明な点は、荘内病院地域医療連携室(電話0235-2615155)にお問い合わせください。

なお、乳がん検診の二次検診(ドックなどの一次検診で異常を指摘された方)は、毎週水曜日と金曜日の外科検診外来への受診をお願いします。

## 専門医を中心とした チーム医療の充実

乳腺専門外来では、専門医による診療のほかに、関連する認定看護師を中心としたチーム医療を実践します。担当看護師を紹介します。山形県で最初に乳がん看護認定看護師の

資格を取得した竹内が、外来、入院等診療の場を問わず乳がん看護にあたります。抗がん剤治療は、がん化学療法看護認定看護師の佐々木が、心身のケアは緩和ケア認定看護師の上林と阿部がそれぞれ担当します。



上段左から阿部、上林、佐々木、竹内

療やケアが提供できる体制を築き上げていきます。これからの荘内病院は今まで以上に乳がん診療に力を入れ、市民の皆様と一緒に貴重な医療資源としての乳腺専門外来を育てていきたいと思っています。荘内病院では患者・ご家族や市民のみならず安心・安全な医療を提供することはもとより、高度・専門化した医療レベルに即時に対応できる体制作りをさらに推進していきたいと考えています。これからも皆様のご理解とご協力をお願いします。

## 病院からのお知らせ

当院では、平成26年10月に患者さんの満足度に対するアンケートを実施いたしました。ご協力いただきました皆さまには、心より感謝申し上げます。

この度、調査結果がまとまりましたので、5月11日(月)より5月末日まで1階ロビーに掲示いたします。より一層のサービス向上を図ってまいります。



北村山公立病院 乳腺外科  
鈴木 真彦 先生

乳腺専門外来の担当医師は、北村山公立病院(山形県東根市、大塚茂院長)乳腺外科の鈴木真彦(すずきまさひこ)先生です。

プロフィールを紹介します。鈴木先生は平成8年に山形大学医学部を

# 放射線画像センターの最新機器を紹介します



**X線CT(320列)**

以前の80倍となる320列の検出器を搭載し、撮影時間が格段に速くなりました。  
また、高画質な画像を少ない被ばく線量で得ることができ、さらに、動態検査や4D検査を行うことも可能となりました。



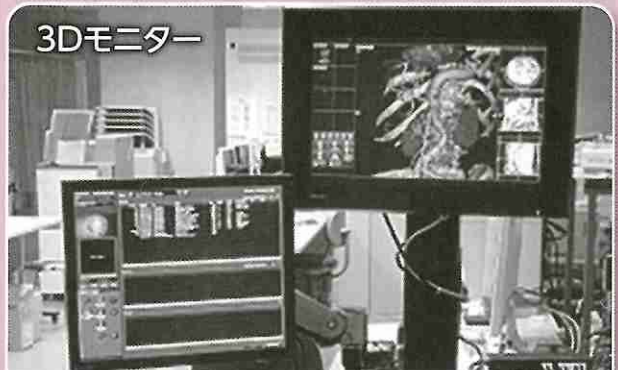
**シンチカメラ**

画像構成は数段早く最新の電子回路技術で高画質が得られます。  
また、患者様の寝台への乗り降りもしやすくなっております。



**治療用CT**

大口径になったため、固定具を使用しての放射線治療計画CTが撮影可能となりました。  
撮影時間も大幅に短縮され、患者様の負担が少なくなりました。



**3Dモニター**

320列CT導入と同時に、動態検査や4D検査時の動きを滑らかにするフィジオソフトと、裸眼で見られる裸眼3Dモニターも2台配備し、精度の高い立体映像で手術患部をより精緻に把握することができます。

## 外来診療Q&A

**Q. 荘内病院の外来を受診するには、どうしたらいいのでしょうか。紹介状が無いと、診てもらえないのですか？**

**A. 下記の診療科は紹介状がなくても受診可能です。**

外科(外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科)、形成外科、小児科、脳神経外科、皮膚科、産科・婦人科、泌尿器科

**紹介状が必要な診療科はこちら**

内科(内科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科)、歯科口腔外科、整形外科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線治療科

詳しくは、荘内病院医事課(Tel.0235-26-5111 内線6111)もしくは正面入り口すぐの病院案内へ

●病院憲章 **高度・良質な医療と心のこもった患者サービスで地域医療を担う基幹病院**

- 基本理念
- ・診療圏域住民の生命と健康を守り、高度かつ良質な医療を提供し、地域医療機関との機能連携を強化しながら、基幹病院として地域医療の充実に努める。
  - ・プライバシーの尊重とアメニティーの向上に配慮し、患者が安心と満足が得られる、快適な療養環境の整備に努める。
  - ・医師や看護師をはじめ、病院で働く職員が一致協力し、心のこもった患者サービスの向上に努める。
  - ・医療従事者の教育と臨床研修を重視し、市民から信頼され、地域医療に貢献できる、質の高い医療人の育成に努める。
  - ・医療環境の変化に対応できる経営方針を確立し、安定した経営の基盤づくりに努める。

